

東京都 23 区のひとり親家庭の現状

～新型コロナウイルス感染症対応・ひとり親家庭応援ボックス利用者の申込項目から～



ひとり親家庭
応援ボックス
申込結果

 Save the Children

(イメージ)

2020年6月4日

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 国内事業部

<第1回ひとり親家庭応援ボックス実施概要>

- 【実施期間】
- ・受付：2020年5月23日～24日
※当初5月27日を受付締め切りとしたが、受付開始から2日間で募集数に達した。
 - ・発送：2020年5月30日
- 【配布世帯数】 310世帯（子ども548人）
- 【対象者】 東京都23区内にお住まいの、以下の申込条件をすべて満たすひとり親家庭（0歳～18歳、高校生世代までの子どもがいる世帯）
- 【申込条件】
1. 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯
 2. 新型コロナウイルス感染症の影響による類似の食品提供（お米やレトルト食品など）を、5月以降、利用していない世帯
 3. 児童扶養手当受給またはそれに準ずる世帯
- 【配布内容】
- ・食料品、情報提供
 - ・おもちゃセット（希望者先着100世帯、主に乳幼児向け）
- 【実施目的】 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、収入が減少したひとり親家庭の子どもたちの食の状況改善や遊びの機会確保のため。

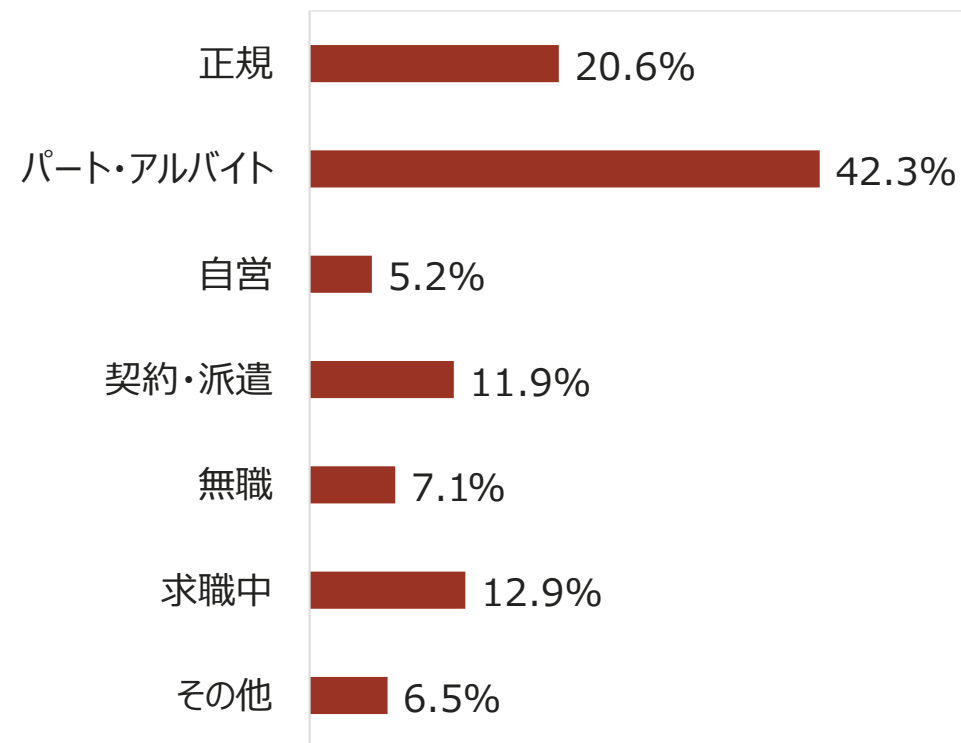
<利用した保護者の情報>

性別	割合
女	97.4 %
男	2.6 %

年代	割合
20代	6.5 %
30代	40.6 %
40代	46.1 %
50代	6.8 %

子どもの人数	世帯数
1人	147
2人	105
3人	46
4人	9
5人	1
6人	2
合計	310

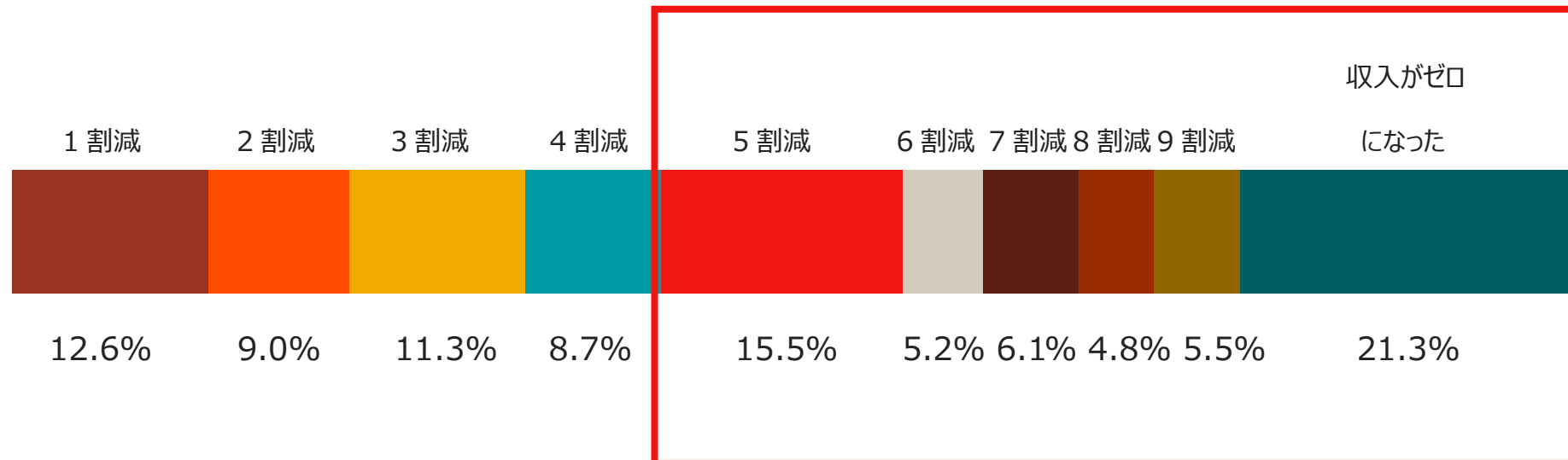
保護者の就業状況



※割合の分母はすべて、310世帯。

1. 収入が減少した割合

申込時の質問：新型コロナウイルスの影響で、あなたの家庭の収入はどの程度減少しましたか？（必須、単数回答）

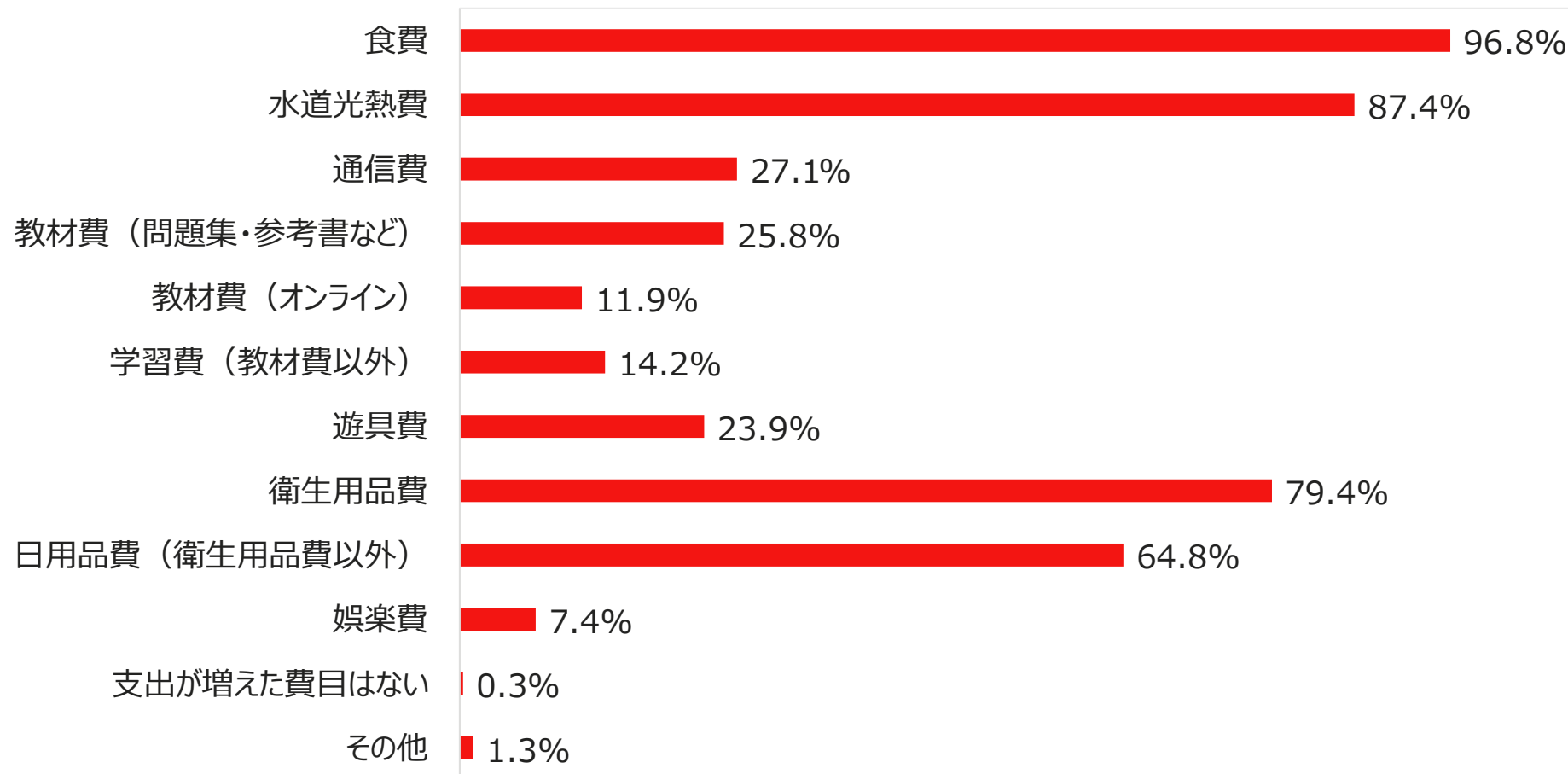


約 6 割の世帯の収入が半分以上減少

約 2 割は収入がゼロになった

2.支出が増えた費目

申込時の質問：新型コロナウイルスの影響で支出が増えた項目を選択してください。（任意、複数回答）

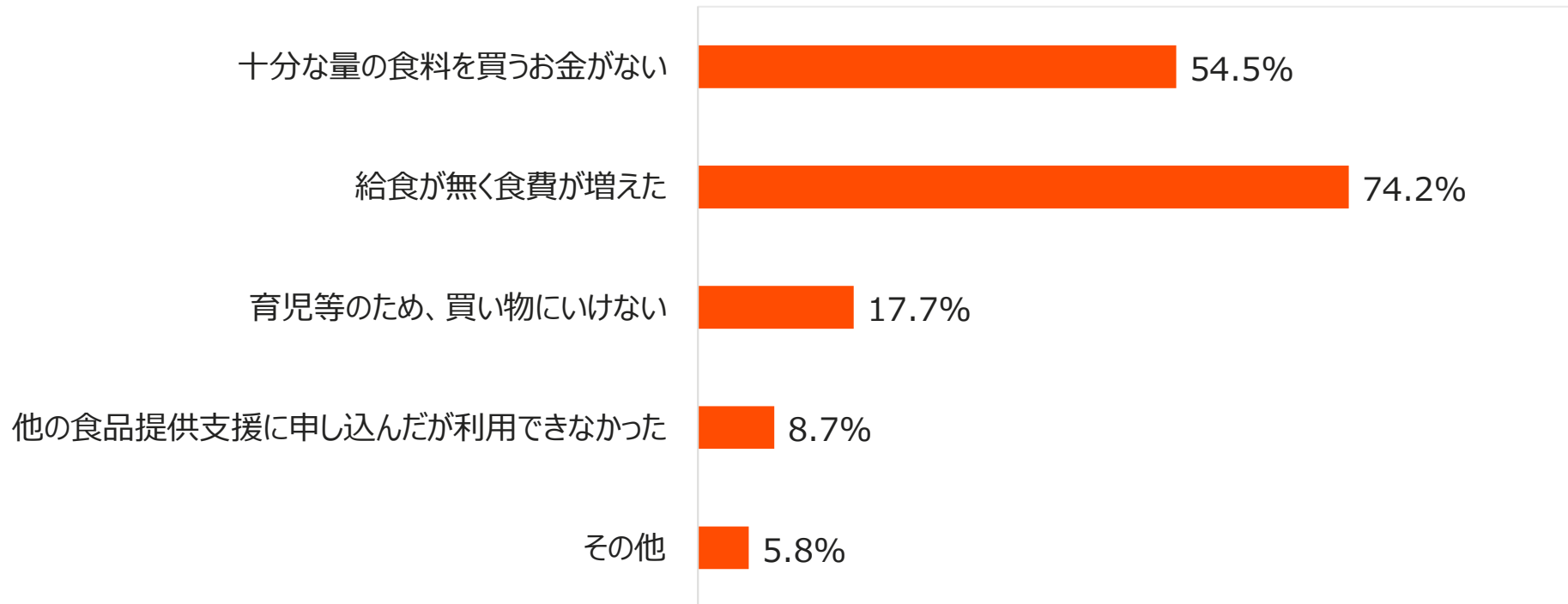


- その他の内容（一部）

- ・未使用の高校生の駐輪場代。（30代女性・高校生世代、中学生、小学4-6年生）
- ・教材を印刷するインクや用紙代。（50代女性・高校生世代）

3.本ボックスの申込理由

申込時の質問： 本ボックスの申込理由を教えてください。（必須、複数回答）

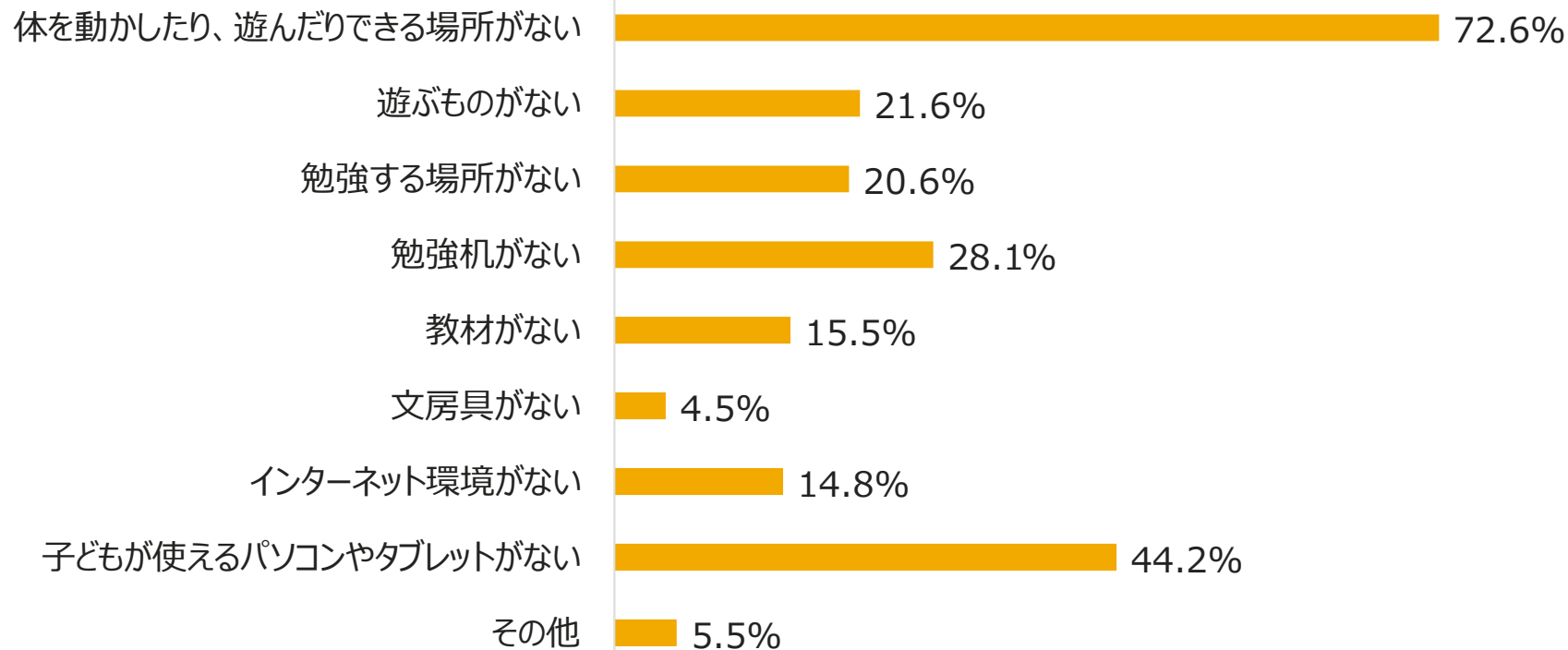


● その他の内容（一部）

- ・コロナの影響もあり、子供が精神不安定になりずっとそばにいないと不安になってしまうので、思うように買い物に行けません。また収入が無くなって困っている為です。（30代女性・小学4-6年生）
- ・ひとりぼっちで自宅にいるしかない子供に少しでもプラスになることをしてあげたいけど、自分には今以上にできないので応募した。（40代女性・小学4-6年生）
- ・病気休職中で、医師から外出を禁じられているため、ネット以外の買い物に行けません。（40代女性・小学1-3年生）
- ・食べ盛りの高校生の息子2人いる為食費がかかります。（40代女性・高校生世代2人）

4.子どもたちの過ごす環境、家庭の状況

申込時の質問： 外出自粛・休校期間中の子どもたちの過ごす環境について、ご家庭の状況を教えてください。（任意、複数回答）



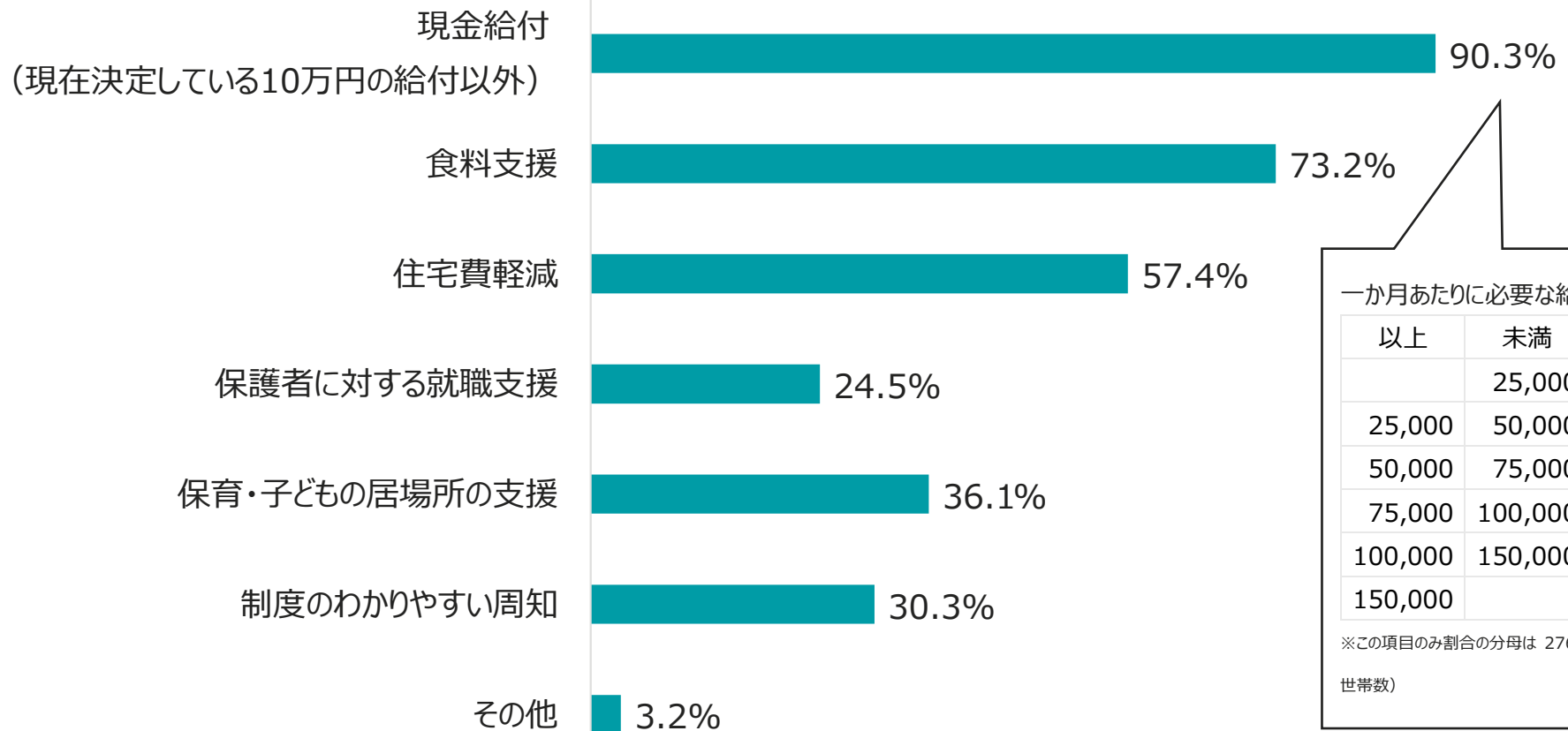
● その他の内容（一部）

- ・運動も一緒にしてあげたいが、生活を守る為に働くのが優先になり、子どもは一人で家に居させるしかなく、家に一人していると、身体が固まり、まだ11歳ではあるが、腰痛になってしまい、整骨院で治療しなくてはいけなくなっている。また、宿題も予習になり、量が多い予習を一人でこなせず、親も管理が大変になっている。（40代女性・小学4-6年生）
- ・マンションで階下の方から騒音の苦情があり、私も家から出られず困っている。（40代女性・小学1-3年生）
- ・同年代の子どもと遊ばせてあげられない。（30代女性・未就学児）
- ・誰もいない団地等の公園でひっそりと縄跳びなど。（30代女性・小学1-3年生2人）



5.必要な支援

申込時の質問：あなたは、どのような新型コロナウイルス支援策が、ひとり親家庭に対して必要だと思いますか？（任意、複数回答）



一か月あたりに必要な給付金額

以上	未満	割合
	25,000	11.6%
25,000	50,000	21.0%
50,000	75,000	41.3%
75,000	100,000	1.4%
100,000	150,000	16.7%
150,000		8.0%

※この項目のみ割合の分母は 276 世帯（金額を入力した世帯数）

● その他の内容（一部）

- ・学習支援。（40代女性・高校生世代、中学生）
- ・学費の減額や補助（40代女性・中学生）

- ・オンラインの設備投資、ハード、ソフト（40代女性・小学4-6年生）

6.ひとり親家庭の心配ごと、社会や政府に求めること（一部）

申込時の質問：差し支えない範囲で、あなたがいま悩んでいることや心配なこと、困っていること、政府や自治体、社会に求めること、伝えたいことを具体的に教えてください。（任意、自由記述）

- ・ひとり親は辛いです。1人で戦っていますので。現金ではなくても食材支援お願いしたいです。（20代女性・未就学児3人）
- ・子供達が休校、私も仕事が休業だったため食費、水道光熱費が増え普段の2倍位の生活費がかかっています。（40代女性・高校生世代、中学生）
- ・2日に一回の食事しかできないので水で空腹しのぎしています。子供達の栄養面、学費、光熱費、食費、携帯代、家賃、下着類…生活全てにおいてです。（40代女性・高校生世代2人、小学1-3年生）
- ・収入が減り、家賃も払えないが、住居確保給付金の審査に時間がかかり食費を削っている。そのため休校期間中に3人とも体重が3~6kg減ってしまった。元々標準体重です。（30代女性・中学生、小学4-6年生）
- ・コロナ解雇に遭い、無職です。現金給付を急いでほしいです。家賃が払えません。（40代女性・小学4-6年生）
- ・給付金が一回限りでこのご時世が変わらずだと家賃や生活費など金銭面について今後やっていけるか心配。（20代女性・未就学児）

・離婚調停前で、離婚できていないので、児童扶養手当も、何ももらえず、旦那さんからは生活費や養育費もいっさい、何も無く、母子生活支援施設にいますが、生活保護も受けれないと言われました。（30代女性・小学1-3年生）

・障害年金受給のひとり親が児童扶養手当がもらえなくて、今回各自治体を実施している緊急支援の対象外となってしまう点。（40代男性・中学生）

・収入も減り現在、家賃を2ヶ月滞納している状況ですが支払える目処もありません。住居確保給付金の相談もしましたが、月収に1人親の手当て分も足して計算され基準額を超えると給付金から差し引かれるため、諦めました。国からの給付金も、申請書類の送付は今月末から始まり実際に手元に届くのはまだ先になりそうです。毎日、賃貸保証会社からの連絡に怯えて生活しています。（50代女性・中学生）

・国の休業補償制度はあっても、会社側が利用に前向きでなく、本当に困っている。契約社員という立場から強く申し出ることもできない。（30代女性・未就学児）

・学校休校の要請、学童の自粛等をする場合、保証は会社からの申請では、使用しないといわれ、無収入での自粛です。個人申請ができるようにならないと、意味がありません。（30代女性・小学1-3年生）

・コロナの前に転職しようと考えていたが日本にもコロナが来てしまい転職活動でも上手くいかず派遣でも全然働けていない。（20代男性・未就学児）

・学校からも YouTube 等の動画を見てくださいや、ダウンロードして使ってくださいときたが、ネット環境がなくて困りました。職場でダウンロードしたり、友達に内容を教えてもらいました。(50代女性・中学生)

・今まではスーパーの安売りや、値引き商品を頼りにしていましたが、過密をさけるため時間帯を選び、近場のスーパーで用を足すため、割高な商品の購入でも仕方ありません。今まで屋外で子供を遊ばせ、切り詰めていた光熱費も高くなりました。努力して抑えていた出費が抑えられなくなったことが困っています。(40代女性・未就学児)

・子どもがいる場所もない家庭の中での狭い空間で親も子どももストレス溜まり、発散のやり場はない。コロナ自粛は、事実上の災害に等しく、子どもから、大人まで幅広く支援していくべきだと思う。個人に対して、メンタル面回復から、衣食住すべてに支援が必要。(40代女性・小学4-6年生)

・母子二人の生活で、どちらかがコロナにかかってしまった場合、せまい家に住んでいる私達はどうしたら良いのか不安です。(30代女性・小学1-3年生)

■以上